ドライビングモニター取扱説明書

ドライビングモニターをお買い求めいただきありがとうございます。
非常に簡単ではありますが、ドライビングモニターの機能を活かしていただくために、この説明書をお読みください。

・ 取り付けについて

ドライビングモニターをステアリングワークや走行ラインと一緒に見ることが出来るよう、取り付けはダッシュボードのセンターのなるべく高い場所にお願いします。
ステーはNAVI用のものを流用することも可能です。
アルミなどでステーを自作される場合、ドライビングモニターの表示面がカメラのレンズ方向に向くよう、取り付け角度にご注意ください。
LEDは指向性が強いため、角度がズレていると表示が暗くなってしまいます。

・ 基本セットアップ

①電源

シガーライターソケットに電源ケーブルを接続し、本体とGセンサー、ペダルセンサーを接続すれば作動します。電源ON時には左下のランプが点灯します。(新型ドライビングモニターには電源ON／OFFスイッチがありませんので、通常は電源ケーブルを外してください)

②キャリブレーション操作

電源を入れたら、キャリブレーション操作を行ってください。
ペダルセンサーのキャリブレーションは、右側の赤色のボタンを使います。
赤色のボタンを長押しし、TP&BKの表示が点滅した状態でアクセルペダルを床まで踏んで戻す。ブレーキも同様の操作を行い、もう一度赤色のボタンを押せばキャリブレーション操作が終了します。
Gセンサーのキャリブレーション操作は基本的には必要ありません。
が、平地に停車している状態でGが点灯してしまっている場合（Gセンサーが斜めに取り付けられているなど)、左側の赤色のボタンを一回押していただければその状態を0Gと判断します。
（キャリブレーションによる補正は0.2Gまでにしてください）

③同梱の黄色い配線について

同梱の黄色い配線はコンピュータからアクセル開度の信号を拾うための配線です。
が、特に電子スロットルの車両や競技用の車両の場合はペダルセンサーの使用を強く推奨しています。

・ よくある質問

①表示が暗くて見難い

ドライビングモニターの表示部がカメラ側に向いているかを確認してください。角度に問題が無いが見にくいという場合は左側、電源ランプの上にある穴に照度調整ボリュームが付いていますので、精密ドライバーにて調整をお願いします。

②表示がちゃんと映らない

ピットではちゃんと映っていたのだが、走行していると表示がチカチカしてちゃんと見えない！　というのはシャッタースピードに問題があります。

スポーツモードなどを使用しているとシャッタースピードが速くなり、チカチカしますので解除してください。

また、撮影時の露出をシャッタースピードのみでコントロールするカメラの場合は、明るくなるとシャッタースピードが上がってしまい、チカチカしてしまいます。

この場合、レンズにNDフィルターを装着するなどの対策をお願いします。

※ドライビングモニターの照度調整を変更して対応できる場合もあります。

③ペダルセンサーが上手く作動しない

キャリブレーション操作を行っても反応しない場合、またはペダルを踏んでいない状態でも点灯してしまうなどの場合。

ペダルセンサーは光学式ですので、ペダルを踏み込んだ際に床との距離が近くなりすぎる場合、表示が不正確になります。

また、フロアが光を反射しにくい材質の場合や複雑な形状をしている場合は表示が不正確になる場合があります。

この場合、センサーが向いている側のフロアにウエスを置いていただき作動チェックしてください。それで作動する場合は、同様の物を固定してください。

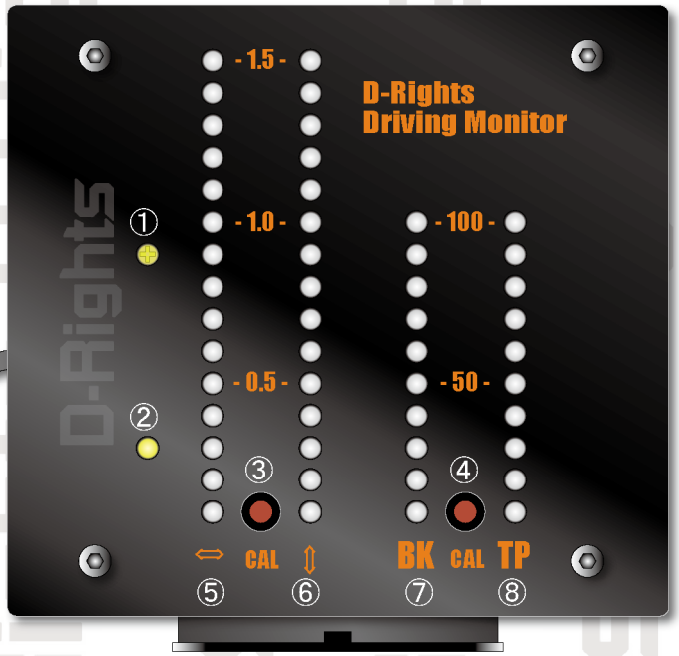
④ペダルセンサーのキャリブレーション

ブレーキペダルセンサーのキャリブレーションはエンジンを掛けた状態で行い、通常の走行中に全部点灯してしまわないように調整してください。

そうすればフェードやベーパーロックによってブレーキが深くなり、制動Gが出ない状態、また、ブレーキパッドを変更したら短いストロークで充分な制動Gが発揮されているなどブレーキ性能の変化がビデオに収録されます。

ドライビングモニター各部名称

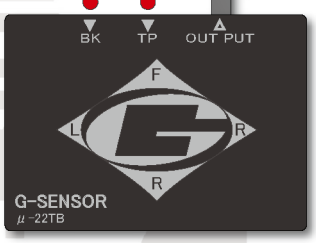
モニター本体



付属ケーブル

ブレーキセンサー入力

スロットルセンサー入力



Gセンサー本体

各部説明

① 照度調整ボリューム

② 電源ランプ

③ キャリブレーションボタン
（G センサーセッティグ）

④ キャリブレーションボタン
（ペダルセッティング）

⑤ 左右 G

⑥ 前後 G

⑦ ブレーキストローク

⑧ スロットルポジション